

第41回 定時社員総会

日時 令和元年6月25日
16:30~17:30
場所 砂防会館別館 六甲会議室



一般社団法人 斜面防災対策技術協会

第41回 定時社員総会次第

日 時 令和元年6月25日(火)
16:30~17:30
場 所 砂防会館別館 六甲会議室

開 会

1. 挨拶

2. 議 事

第1号議案 平成30年度収支決算承認の件

第2号議案 役員選任の件

(報告事項)

第1号報告 平成30年度事業報告について

第2号報告 令和元年度事業計画及び収支予算書について

閉 会

目 次

第1号議案	平成30年度収支決算承認の件	1
(1)	貸借対照表	2
(2)	正味財産増減計算書	4
(3)	財産目録	8
(4)	収支計算書	9
	監査報告書	11
第2号議案	役員選任の件	12
(報告事項)		
第1号報告	平成30年度事業報告について	14
第2号報告	令和元年度事業計画及び収支予算書について	
		21

第1号議案 平成30年度収支決算承認の件

貸借対照表
平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	本部	支部計	合計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	5,048,290	20,357,738	25,406,028
前払金	0	0	0
未収金	123,860	0	123,860
商品	3,451,150	0	3,451,150
立替金	2,503	20,300	22,803
流動資産合計	8,625,803	20,378,038	29,003,841
2 固定資産			
(1) 特定資産			
①登録試験事業積立資産	0	0	0
②技術フォーラム事業積立資産	0	0	0
③出版事業積立資産	0	0	0
④職員退職積立金	2,820,053	2,554,248	5,374,301
⑤運営資金積立金	0	15,297,253	15,297,253
特定資産合計	2,820,053	17,851,501	20,671,554
(2) その他固定資産			
什器備品	1	0	1
電話加入権	6,000	0	6,000
敷金	2,468,360	240,000	2,708,360
その他固定資産合計	2,474,361	240,000	2,714,361
固定資産合計	5,294,414	18,091,501	23,385,915
資産合計	13,920,217	38,469,539	52,389,756
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	598,837	216,864	815,701
前受金	36,000	0	36,000
預り金	298,770	0	298,770
流動負債合計	933,607	216,864	1,150,471
2 固定負債			
退職給与引当金	2,820,053	2,554,248	5,374,301
固定負債合計	2,820,053	2,554,248	5,374,301
負債合計	3,753,660	2,771,112	6,524,772
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	10,166,557	35,698,427	45,864,984
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	10,166,557	35,698,427	45,864,984
負債及び正味財産合計	13,920,217	38,469,539	52,389,756

貸借対照表(前年度との比較)

本部と支部の合計値

(単位:円)

科 目	当 年 度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	25,406,028	28,190,024	△ 2,783,996
前払金	0	16,201	△ 16,201
未収金	123,860	112,160	11,700
商品	3,451,150	2,516,285	934,865
立替金	22,803	23,692	△ 889
流動資産合計	29,003,841	30,858,362	△ 1,854,521
2 固定資産			
(1)特定資産			
①登録試験事業積立資産	0	0	0
②技術フォーラム事業積立資産	0	0	0
③出版事業積立資産	0	0	0
④職員退職積立金	5,374,301	4,425,833	948,468
⑤運営資金積立金	15,297,253	15,295,978	1,275
特定資産合計	20,671,554	19,721,811	949,743
(2)その他固定資産			0
什器備品	1	1	0
電話加入権	6,000	6,000	0
敷金	2,708,360	2,708,360	0
その他固定資産合計	2,714,361	2,714,361	0
固定資産合計	23,385,915	22,436,172	949,743
資産合計	52,389,756	53,294,534	△ 904,778
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	815,701	820,254	0
前受金	36,000	180,000	0
預り金	298,770	392,840	0
流動負債合計	1,150,471	1,393,094	0
2 固定負債			
退職給与引当金	5,374,301	4,425,833	949,743
固定負債合計	5,374,301	4,425,833	949,743
負債合計	6,524,772	5,818,927	949,743
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	45,864,984	47,475,607	△ 1,854,521
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	45,864,984	47,475,607	△ 1,854,521
負債及び正味財産合計	58,914,528	59,113,461	44,965

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本部	支部	合計
I 一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 入会金収益	(0)	(0)	(0)
本部入会金	0		0
支部入会金	0		0
② 会費収益	(33,180,000)	(34,375,600)	(67,555,600)
正会員会費	31,380,000		31,380,000
賛助会員会費	1,800,000		1,800,000
支部基本会費		15,230,000	15,230,000
支部規模別等会費		18,331,600	18,331,600
特別会費		814,000	814,000
③ 事業収益	(24,746,310)	(6,486,871)	(31,233,181)
印刷物頒布収益	4,611,826		4,611,826
試験等事業収益	18,233,000	226,871	18,459,871
技術フォーラム参加収益	1,901,484	2,150,000	4,051,484
業務受託収益	0	4,110,000	4,110,000
④ 雑収益	(823,481)	(1,747,139)	(2,570,620)
受取利息	111	1,722	1,833
広告収益	0	135,000	135,000
その他収益	823,370	1,610,417	2,433,787
経常収益計	58,749,791	42,609,610	101,359,401
(2) 経常費用			
① 事業費	(40,551,019)	(11,126,870)	(51,677,889)
期首商品棚卸高	2,516,285		2,516,285
期末商品棚卸高	△ 3,451,150		△ 3,451,150
技術開発研究費	3,056,006	5,435,906	8,491,912
職員給与	0	4,273,877	4,273,877
退職金	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
旅費交通費	43,840	95,150	138,990
通信運搬費	5,290	50,985	56,275
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	0	214,214	214,214
会場借上等費	432	629,486	629,918
諸謝金	1,120,000	158,000	1,278,000
雑費	1,886,444	14,194	1,900,638
試験等事業費	14,431,369	373,420	14,804,789
職員給与	4,467,018	0	4,467,018
退職金	0	0	0
福利厚生費	587,994	0	587,994
旅費交通費	1,653,000	118,799	1,771,799
通信運搬費	590,602	0	590,602
消耗品費	3,434	6,480	9,914
印刷製本費	1,904,664	7,560	1,912,224
会場借上等費	2,519,477	189,021	2,708,498
諸謝金	2,425,000	51,560	2,476,560
雑費	280,180	0	280,180
技術フォーラム事業費	6,472,456	1,040,496	7,512,952
職員給与	1,806,429	216,000	2,022,429
退職金	0	0	0
福利厚生費	266,304	12,938	279,242
旅費交通費	945,860	195,700	1,141,560
通信運搬費	43,620	1,728	45,348
消耗品費	10,294	133,156	143,450
印刷製本費	1,101,600	0	1,101,600
会場借上等費	2,068,517	461,864	2,530,381
諸謝金	41,700	0	41,700
雑費	188,132	19,110	207,242

科 目	本部	支部	合計
出版事業費	10,854,565	805,439	11,660,004
職員給与	1,403,590	0	1,403,590
退職金	0	0	0
福利厚生費	213,570	0	213,570
旅費交通費	883,600	94,680	978,280
通信運搬費	485,617	6,108	491,725
消耗品費	12,303	5,511	17,814
印刷製本費	6,623,208	500,040	7,123,248
印刷物購入費	0	0	0
会場借上等費	208,529	162,884	371,413
諸謝金	715,900	36,000	751,900
雑費	308,248	216	308,464
広報活動費	872,676	1,814,696	2,687,372
職員給与	0	395,928	395,928
退職金	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
旅費交通費	707,960	1,126,101	1,834,061
通信運搬費	0	22,590	22,590
消耗品費	0	5,400	5,400
印刷製本費	77,760	153,661	231,421
会場借上等費	86,200	107,020	193,220
諸謝金	0	0	0
雑費	756	3,996	4,752
賃借料	2,625,612	0	2,625,612
広告宣伝費	413,200	362,612	775,812
協賛金	1,460,000	594,301	2,054,301
助成金	1,300,000	700,000	2,000,000
② 管理費	(19,792,905)	(31,499,230)	(51,292,135)
職員給与	3,796,639	6,871,200	10,667,839
臨時雇用賃金	0	0	0
役員退任慰労金	0	0	0
退職給与引当金	390,030	300,195	690,225
福利厚生費	673,833	1,151,173	1,825,006
委託費	5,059,841	6,010,000	11,069,841
会議費	2,838,774	5,557,670	8,396,444
旅費交通費	514,446	3,831,860	4,346,306
通信運搬費	377,123	1,281,550	1,658,673
消耗品費	274,405	550,745	825,150
消耗什器備品費	216,000	273,240	489,240
保守費(IT関係)	592,704	21,600	614,304
印刷製本費	287,017	318,113	605,130
水道光熱費	442,609	0	442,609
諸謝金	324,000	1,100,000	1,424,000
賃借料	2,625,612	3,000,216	5,625,828
租税公課	337,300	81,000	418,300
諸会費	90,500	403,000	493,500
渉外慶弔費	0	11,620	11,620
雑費	952,072	736,048	1,688,120
経常費用計	60,343,924	42,626,100	102,970,024
当期経常増減額	△ 1,594,133	△ 16,490	△ 1,610,623
経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
前期損益修正損	0	0	0
電話加入権評価損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,594,133	△ 16,490	△ 1,610,623
一般正味財産期首残高	11,760,690	35,714,917	47,475,607
一般正味財産期末残高	10,166,557	35,698,427	45,864,984
II 正味財産期末残高	10,166,557	35,698,427	45,864,984

正味財産増減計算書(前年度との比較)

本部と支部の合計値

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
(1) 經常収益			
① 入会金収益	(0)	(1,100,000)	(△ 1,100,000)
② 会費収益	(67,555,600)	(68,564,000)	(△ 1,008,400)
③ 事業収益	(31,233,181)	(34,388,125)	(△ 3,154,944)
印刷物頒布収益	4,611,826	10,295,190	△ 5,683,364
試験等事業収益	18,459,871	17,668,935	790,936
技術フォーラム参加収益	4,051,484	2,324,000	1,727,484
業務受託収益	4,110,000	4,100,000	10,000
④ 雑収益	(2,570,620)	(4,504,951)	(△ 1,934,331)
經常収益計	101,359,401	108,557,076	△ 7,197,675
(2) 經常費用			
① 事業費	(51,677,889)	(59,674,935)	(△ 7,997,046)
期首商品棚卸高	2,516,285	7,688,820	△ 5,172,535
期末商品棚卸高	△ 3,451,150	△ 2,516,285	△ 934,865
技術開発研究費	8,491,912	7,815,806	676,106
試験等事業費	14,804,789	17,276,551	△ 2,471,762
技術フォーラム事業費	7,512,952	8,126,115	△ 613,163
出版事業費	11,660,004	12,779,216	△ 1,119,212
広報活動費	2,687,372	2,769,592	△ 82,220
賃借料	2,625,612	0	2,625,612
広告宣伝費	775,812	903,120	△ 127,308
協賛金	2,054,301	1,732,000	322,301
助成金	2,000,000	3,100,000	△ 1,100,000
② 管理費	(51,292,135)	(49,718,288)	(△ 1,573,847)
職員給与	10,667,839	10,929,170	△ 261,331
臨時雇用賃金	0	0	0
役員退任慰労金	0	0	0
退職給与引当金	690,225	588,721	101,504
福利厚生費	1,825,006	1,850,549	△ 25,543
委託費	11,069,841	6,000,475	5,069,366
会議費	8,396,444	9,268,630	△ 872,186
旅費交通費	4,346,306	3,658,268	688,038
通信運搬費	1,658,673	1,712,021	△ 53,348
消耗品費	825,150	957,847	△ 132,697
消耗什器備品費	489,240	289,086	200,154
保守費(IT関係)	614,304	878,904	△ 264,600
印刷製本費	605,130	610,441	△ 5,311
水道光熱費	442,609	445,347	△ 2,738
諸謝金	1,424,000	1,724,000	△ 300,000
賃借料	5,625,828	7,841,153	△ 2,215,325
租税公課	418,300	151,000	267,300
諸会費	493,500	410,000	83,500
渉外慶弔費	11,620	0	11,620
雑費	1,688,120	2,402,676	△ 714,556
經常費用計	102,970,024	109,393,223	△ 6,423,199
当期經常増減額	△ 1,610,623	△ 836,147	△ 774,476
經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	578,880	△ 578,880
(2) 經常外費用			
前期損益修正損	0	0	0
電話加入権評価損	0	0	0
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	578,880	△ 578,880
当期一般正味財産増減額	△ 1,610,623	△ 257,267	△ 1,353,356
一般正味財産期首残高	47,475,607	47,732,874	△ 257,267
一般正味財産期末残高	45,864,984	47,475,607	△ 1,610,623
II 正味財産期末残高	45,864,984	47,475,607	△ 1,610,623

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

平成 25 年度より「公益法人会計基準」(平成 20 年 4 月 11 日、平成 21 年 10 月 16 日改正)を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品については、定額法を採用している。

(3) 引当金の計上基準

事業年度末日における退職給付見込み額を簡便法に基づき計上している。

(4) 消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
登録試験事業積立資産	0	0	0	0
技術フォーラム事業積立資産	0	0	0	0
出版事業積立資産	0	0	0	0
職員退職積立金	4,425,833	948,468	0	5,374,301
運営資金積立金	15,295,978	1,275	0	15,297,253
小 計	19,721,811	949,743	0	20,671,554
合 計	19,721,811	949,743	0	20,671,554

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
小 計	0	(0)	(0)	(0)
特定資産				
登録試験事業積立資産	0	(0)	(0)	(0)
技術フォーラム事業積立資産	0	(0)	(0)	(0)
出版事業積立資産	0	(0)	(0)	(0)
職員退職積立金	5,374,301	(0)	(0)	(5,374,301)
運営資金積立金	15,297,253	(0)	(15,297,253)	(0)
小 計	20,671,554	(0)	(15,297,253)	(5,374,301)
合 計	20,671,554	(0)	(15,297,253)	(5,374,301)

財 産 目 録

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	本 部	支 部 計	合 計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	229,565	334,909	564,474
郵便振替口座			
東京貯金事務センター	39,125		39,125
普通預金			
みずほ銀行新橋支店(本部)	3,664,279		3,664,279
三井住友銀行日比谷通支店(本部)	1,115,321		1,115,321
北洋銀行南口支店(北海道)		4,932,611	4,932,611
七十七銀行仙台東口支店(東北)		655,247	655,247
第四銀行白山支店(新潟)		1,740,678	1,740,678
富山銀行諏訪川原支店(富山)		278,973	278,973
北國銀行 大徳支店(石川)		641,001	641,001
八十二銀行風間支店(長野)		912,805	912,805
静岡信用金庫城北支店(静岡)		918,744	918,744
三菱UFJ銀行新橋支店(東海)		483,758	483,758
三菱UFJ銀行新橋支店(関西)		2,402,441	2,402,441
中国銀行県庁支店(中国)		3,365,557	3,365,557
百十四銀行東支店(四国)		495,870	495,870
福岡銀行博多駅東支店(九州)		1,728,358	1,728,358
三菱UFJ銀行新橋支店(関東)		1,466,786	1,466,786
定期預金			
三菱UFJ銀行新橋支店			0
前払金			0
未収金	123,860		123,860
商品	3,451,150		3,451,150
立替金	2,503	20,300	22,803
流動資産合計	8,625,803	20,378,038	29,003,841
2 固定資産			
(1) 特定資産			
登録試験事業積立資産			
定期預金			
三井住友銀行日比谷通支店	0		0
技術フォーラム事業積立資産			
定期預金			
三井住友銀行日比谷通支店	0		0
出版事業積立資産			
定期預金			
三井住友銀行日比谷通支店	0		0
職員退職給与積立金			
勤労者退職金共済機構	2,820,053		2,820,053
富山銀行諏訪川原支店(定期預金)		2,554,248	2,554,248
運営資金積立金			
普通預金			
富山銀行諏訪川原支店		262,711	262,711
四国銀行 高松支店		0	0
定期預金			
第四銀行白山支店		0	0
富山銀行諏訪川原支店		15,034,542	15,034,542
基本財産合計	2,820,053	17,851,501	20,671,554
(2) その他の固定資産			
什器備品	1	0	1
電話加入権	6,000	0	6,000
敷金	2,468,360	240,000	2,708,360
その他の固定資産合計	2,474,361	240,000	2,714,361
固定資産合計	5,294,414	18,091,501	23,385,915
資産合計	13,920,217	38,469,539	52,389,756
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	598,837	216,864	815,701
前受金	36,000	0	36,000
預り金	298,770	0	298,770
流動負債合計	933,607	216,864	1,150,471
2 固定負債			
退職給与引当金	2,820,053	2,554,248	5,374,301
固定負債合計	2,820,053	2,554,248	5,374,301
負債合計	3,753,660	2,771,112	6,524,772
正味財産	10,166,557	35,698,427	45,864,984

収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)


科 目	本部	支部	合計
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
(1) 経常収益			
① 入会金収入	(0)	(0)	(0)
② 会費収入	(33,180,000)	(34,375,600)	(67,555,600)
③ 事業収入	(24,746,310)	(6,486,871)	(31,233,181)
印刷物頒布収入	4,611,826	0	4,611,826
試験等事業収入	18,233,000	226,871	18,459,871
技術フォーラム参加収入	1,901,484	2,150,000	4,051,484
業務受託収入	0	4,110,000	4,110,000
④ 雑収入	(823,481)	(1,747,139)	(2,570,620)
受取利息	111	1,722	1,833
広告収入	0	135,000	135,000
雑入	823,370	1,610,417	2,433,787
事業活動収入計	58,749,791	42,609,610	101,359,401
2 事業活動支出			
① 事業費支出	(41,485,884)	(11,126,870)	(52,612,754)
技術開発研究費	3,056,006	5,435,906	8,491,912
職員給与	0	4,273,877	4,273,877
退職金	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
旅費交通費	43,840	95,150	138,990
通信運搬費	5,290	50,985	56,275
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	0	214,214	214,214
会場借上等費	432	629,486	629,918
諸謝金	1,120,000	158,000	1,278,000
雑費	1,886,444	14,194	1,900,638
試験等事業費	14,431,369	373,420	14,804,789
職員給与	4,467,018	0	4,467,018
退職金	0	0	0
福利厚生費	587,994	0	587,994
旅費交通費	1,653,000	118,799	1,771,799
通信運搬費	590,602	0	590,602
消耗品費	3,434	6,480	9,914
印刷製本費	1,904,664	7,560	1,912,224
会場借上等費	2,519,477	189,021	2,708,498
諸謝金	2,425,000	51,560	2,476,560
雑費	280,180	0	280,180
技術フォーラム事業費	6,472,456	1,040,496	7,512,952
職員給与	1,806,429	216,000	2,022,429
退職金	0	0	0
福利厚生費	266,304	12,938	279,242
旅費交通費	945,860	195,700	1,141,560
通信運搬費	43,620	1,728	45,348
消耗品費	10,294	133,156	143,450
印刷製本費	1,101,600	0	1,101,600
会場借上等費	2,068,517	461,864	2,530,381
諸謝金	41,700	0	41,700
雑費	188,132	19,110	207,242
出版事業費	10,854,565	805,439	11,660,004
職員給与	1,403,590	0	1,403,590
退職金	0	0	0
福利厚生費	213,570	0	213,570
旅費交通費	883,600	94,680	978,280
通信運搬費	485,617	6,108	491,725
消耗品費	12,303	5,511	17,814
印刷製本費	6,623,208	500,040	7,123,248


科 目	本部	支部	合計
印刷物購入費	0	0	0
会場借上等費	208,529	162,884	371,413
諸謝金	715,900	36,000	751,900
雑費	308,248	216	308,464
広報活動費	872,676	1,814,696	2,687,372
職員給与	0	395,928	395,928
退職金	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
旅費交通費	707,960	1,126,101	1,834,061
通信運搬費	0	22,590	22,590
消耗品費	0	5,400	5,400
印刷製本費	77,760	153,661	231,421
会場借上費	86,200	107,020	193,220
諸謝金	0	0	0
雑費	756	3,996	4,752
賃借料	2,625,612	0	2,625,612
広告宣伝費	413,200	362,612	775,812
協賛金	1,460,000	594,301	2,054,301
助成金	1,300,000	700,000	2,000,000
② 管理費	(19,402,875)	(31,199,035)	(50,601,910)
職員給与	3,796,639	6,871,200	10,667,839
臨時雇用賃金	0	0	0
役員退任慰労金	0	0	0
福利厚生費	673,833	1,151,173	1,825,006
委託費	5,059,841	6,010,000	11,069,841
会議費	2,838,774	5,557,670	8,396,444
旅費交通費	514,446	3,831,860	4,346,306
通信運搬費	377,123	1,281,550	1,658,673
消耗品費	274,405	550,745	825,150
消耗什器備品費	216,000	273,240	489,240
保守費(IT関係)	592,704	21,600	614,304
印刷製本費	287,017	318,113	605,130
水道光熱費	442,609	0	442,609
諸謝金	324,000	1,100,000	1,424,000
賃借料	2,625,612	3,000,216	5,625,828
租税公課	337,300	81,000	418,300
諸会費	90,500	403,000	493,500
交際費	0	11,620	11,620
雑費	952,072	736,048	1,688,120
事業活動支出計	60,888,759	42,325,905	103,214,664
事業活動収支差額	△ 2,138,968	283,705	△ 1,855,263
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入	0	0	0
2 投資活動支出	0	1,470	1,470
投資活動収支差額	0	△ 1,470	△ 1,470
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入	0	0	0
2 財務活動支出	390,030	300,000	690,030
財務活動収支差額	△ 390,030	△ 300,000	△ 690,030
IV 予備費支出			0
当期収支差額	△ 2,528,998	△ 17,765	△ 2,546,763
前期繰越収支差額	6,760,203	20,178,939	26,939,142
次期繰越収支差額	4,231,205	20,161,174	24,392,379

令和元年6月4日

一般社団法人斜面防災対策技術協会
会長 辻 裕 殿

一般社団法人斜面防災対策技術協会

監事 長田 俊明 

監事 石川 芳治 

監査報告書

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、書類等を閲覧し、当法人の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

第2号議案 役員選任の件

役員選任 (案)

現 員		選 任 案	
役 職	氏 名	職 歴	備 考
会 長	辻 裕	国土防災技術(株) 代表取締役社長	
副 会 長	近藤 浩一	(一財)砂防・地すべり技術センター 相談役	
副 会 長	原 裕	日本建設技術(株) 代表取締役社長	九州支部
専務理事	杉浦 信男	(一社)斜面防災対策技術協会	
理 事	小野由紀光	国土防災技術北海道(株) 代表取締役社長	北海道支部
	熊谷 茂一	東北ボーリング(株) 代表取締役社長	東北支部
	滝澤 俊康	ライト工業(株) 技術営業本部技術部長	関東支部
	野澤英之助	(株)興和 相談役	新潟支部
	田中洋一郎	ガイチ(株) 代表取締役	富山支部
	尾蔵 博	(株)ホクコク水地 代表取締役社長	石川支部
	戸谷 勝彦	日本総合建設(株) 理事兼松本支店長	長野支部
	土屋 靖司	(株)富士和 代表取締役社長	静岡支部
	熊谷栄治郎	イビディングリーナーテック(株) 取締役法面事業本部長	東海支部
	谷垣 和伸	(株)タニガキ建工 代表取締役社長	関西支部
	岩本 方克	(株)エイト日本技術開発 取締役常務執行役員地域統括(兼)事業推進本部長	中国支部
	永野 敬典	(株)相愛 代表取締役社長	四国支部
	鈴木 滋	日本工営(株) 国土保全事業部長	
	山川 雅弘	明治コンサルタント(株) 相談役	
	若林 直樹	(株)日さく 代表取締役社長	
監 事	石川 芳治	東京農工大学 名誉教授	
	長田 俊明	国際航空(株) 技術サービス本部本店営業部官庁G中央官庁担当部長	

現 員		選 任 案	
役 職	氏 名	職 歴	備 考
理 事	辻 裕	国土防災技術(株) 代表取締役社長	
	近藤 浩一	(一財)砂防・地すべり技術センター 相談役	
	原 裕	日本建設技術(株) 代表取締役社長	九州支部
	杉浦 信男	(一社)斜面防災対策技術協会	
	小野由紀光	国土防災技術北海道(株) 代表取締役社長	北海道支部
	熊谷 茂一	東北ボーリング(株) 代表取締役社長	東北支部
	滝澤 俊康	ライト工業(株) 技術営業本部技術部長	関東支部
	野澤英之助	(株)興和 相談役	新潟支部
	田中洋一郎	ガイチ(株) 代表取締役	富山支部
	矢野 好二	能登建設(株) 代表取締役社長	石川支部
新任	吉村 泰	北陽建設(株) 長野営業所長	長野支部
	土屋 靖司	(株)富士和 代表取締役社長	静岡支部
	熊谷栄治郎	イビディングリーナーテック(株) 取締役法面事業本部長	東海支部
	谷垣 和伸	(株)タニガキ建工 代表取締役社長	関西支部
	岩本 方克	(株)エイト日本技術開発 取締役常務執行役員地域統括(兼)事業推進本部長	中国支部
	永野 敬典	(株)相愛 代表取締役社長	四国支部
新任	大場勝一郎	日本工営(株) 国土保全事業部副事業部長	
新任	進藤 武	明治コンサルタント(株) 管理本部副本部長	
	若林 直樹	(株)日さく 代表取締役社長	
監 事	石川 芳治	東京農工大学 名誉教授	
	長田 俊明	国際航空(株) 技術サービス本部本店営業部官庁G中央官庁担当部長	

(報告事項)

第1号報告 平成30年度事業報告について

平成 30 年度事業報告

定例の総会・理事会並びに登録地すべり防止工事試験、地すべり防止工事士技術講習会（更新講習）、技術フォーラムを予定通り開催すると共に、斜面防災対策技術の開発、普及、啓発事業等に関して各委員会活動を含む協会活動を積極的に行った。

本年度も「斜面对策工維持管理実施要領」の販売とその普及を目指し、全国 3 会場で講習会を実施し残部 69 部となった。現在、積算歩掛編の編集作業を精力的に行なっており、令和元年度内に発行の予定であり、当協会の成果が発注に反映されることが期待される。

会員数はほぼ横ばいで、協会活動を通じて会員のメリットを明確にし、協会一丸となって会員数の増強を精力的に推進する必要がある。

役員人事では、浅野 敬文氏、谷本 尚威氏及び竹原 哲郎氏が理事を、木村 温氏が監事を退任され、理事に熊谷 栄治郎氏、岩本 方克氏、鈴木 滋氏が、監事に石川 芳治氏が選任された。

1. 総会及び理事会関係

(1) 総会

定時社員総会（第 40 回）

平成 30 年 6 月 26 日（火） 於：砂防会館別館「六甲」会議室

【審議事項】

- ①平成 29 年度収支決算承認の件
- ②役員選任の件

【報告事項】

- ①平成 29 年度事業報告について
- ②平成 30 年度事業計画及び収支予算書について

(2) 理事会

第 1 回理事会（通常）

平成 30 年 6 月 11 日（月） 於：砂防会館別館「立山」会議室

【審議事項】

- ①平成 29 年度事業報告の件
- ②平成 29 年度収支決算の件
- ③規程の件
- ④創立 40 周年の表彰の件
- ⑤平成 30 年度収支予算変更の件
- ⑥平成 30 年度役員人事の件
- ⑦平成 30 年度定時社員総会招集の件

【報告事項】

- ①平成 30 年度地すべり防止工事士関連について
- ②協会出版事業について
- ③平成 30 年度斜面防災対策技術フォーラムについて
- ④平成 30 年度「地すべり防止技術」研修について
- ⑤その他

第2回理事会（通常）

平成30年10月10日（水）於：神戸市商工会議所会議室「孔雀」

【審議事項】

- ①規程の改訂（委員会設置規程）の件
- ②地すべり防止工事士技術（更新）講習会開催回数増の件
- ③2019年度技術フォーラム開催地の件
- ④入会勧誘努力に対する報償の件

【報告事項】

- ①協会創立40周年記念について
- ②平成30年度登録地すべり防止工事1次試験について
- ③平成30年度登録地すべり防止工事士技術講習会（更新講習会）について
- ④「斜面防災対策技術フォーラム'18 in 神戸」について
- ⑤協会出版物の販売状況について
- ⑥「地すべり防止技術研修」について
- ⑦地すべり防止工事士アンケート結果について
- ⑦その他

第3回理事会（書面決議）

平成30年11月10日（土）

【審議事項】

- ①協会創立40周年記念・記念品の件

第4回理事会（通常）

平成31年3月26日（火）開催 於：砂防会館別館「立山」会議室

【審議事項】

- ①平成30年度事業報告（案）の件
- ②平成30年度本部収支決算見込みの件
- ③平成31年度事業計画（案）の件
- ④平成31年度収支予算（案）の件

【報告事項】

- ①登録地すべり防止工事試験ならびに技術（更新）講習会について
- ②協会出版物の販売状況について
- ③技術フォーラムについて
- ④地すべり防止工事士について
- ⑤その他

(3) 会員数（平成31年3月31日現在）

年度初めに1社、年度末に2社からの退会の届出があった。

・正会員数 222会員（29年度末 225会員）

（6月退会1社：西日本土木（株）、3月末退会2社：基礎地盤コンサル
タンツ（株）、大一開発（株））

・賛助会員数 18会員（29年度末 18会員）

2. 試験関係

(1) 登録地すべり防止工事試験

一次試験（筆記）

平成30年6月16日（土）に札幌、仙台、東京、新潟、富山、金沢、長野、静岡、名古屋、神戸、岡山、高松、福岡の13都市で実施した。

実受験者 194名 合格者 46名（合格率23.7%）

二次試験（面接）

平成30年9月15日（土）神戸、9月22日（土）東京、9月29日（土）福岡で実施した。

実受験者 59名 合格者 48名（合格率81.4%）

過去問題集（平成20年度から29年度）を発行した。

(2) 技術講習会（更新講習）

平成25年度登録者及び平成28・29年度未受講者を対象として、全支部の13会場で実施した。講習テーマは「地震と地すべり」もしくは「地域の斜面災害」ならびに「斜面对策工維持管理実施要領の説明」とし、各会場の講師は以下のとおりである。

平成30年度は、平成30年7月豪雨の影響で受講できなかった受講対象者に配慮し、高松会場では講演日を変更し、福岡会場および東京会場では2回目の講習会を開催した。

全受講者 777名

○札幌会場	7月10日（火）	札幌エルプラザ		
（講師）	（株）ドーコン	技術顧問	田近 淳	
	川崎地質（株）		沼宮内 信	
○仙台会場	7月28日（土）	中小企業活性化センター		
（講師）	弘前大学 教授		檜垣 大助	
	奥山ポーリング（株）		山田 孝雄	
○東京会場	8月4日（土）	A P 浜松町		
（講師）	東京農工大学 名誉教授		石川 芳治	
	国土防災技術（株）		榎田 充哉	
	11月3日（土）	A P 浜松町		
（講師）	東京農工大学 名誉教授		石川 芳治	
	（株）キタック		伊藤 克己	
○新潟会場	7月28日（土）	興和ビル		
（講師）	新潟大学 准教授		渡部 直喜	
	（株）興和		丸山 正記	
○富山会場	7月21日（土）	富山県民会館		
（講師）	富山県立大 准教授		古谷 元	
	（株）村尾地研		村尾 英彦	
○石川会場	7月28日（土）	石川県地場産業振興センター		
（講師）	富山県立大 准教授		古谷 元	
	総合地質コンサルタント（株）		岡田 芳一	

- 長野会場 7月19日(木) ホテル国際21
 (講師) 静岡大学 名誉教授 土屋 智
 (株) キタック 伊藤 克己
- 静岡会場 7月21日(土) 静岡市産学交流センター
 (講師) 静岡大学 名誉教授 土屋 智
 国土防災技術(株) 高島 誠
- 名古屋会場 7月28日(土) 名古屋港湾会館
 (講師) 名古屋大学 准教授 田中 隆文
 明治コンサルタント(株) 滝口 潤
- 神戸会場 7月23日(月) 三宮グラウンドビル
 (講師) 京都大学 教授 松浦 純生
 (株) キタック 伊藤 克己
- 岡山会場 7月14日(土) ピュアリティまきび
 (講師) 鳥取大 名誉教授 藤村 尚
 日本工営(株) 浦 元啓
- 高松会場 10月15日(月) サン・メッセ香川
 (講師) 国土交通省四国地方整備局
 河川計画課課長補佐 平澤 良輔
 (株) 相愛 市橋 義治
- 福岡会場 7月7日(土) 福岡県中小企業振興センター
 (講師) 九州大学 准教授 水野 秀明
 日本工営(株) 井上 宏
 10月20日(土) 福岡県中小企業振興センター
 (講師) 九州大学 准教授 水野 秀明
 (株) 相愛 市橋 義治

(3) 地すべり防止工事士マイスター制度

経験豊富な地すべり防止工事士(65歳以上で更新5回以上)に対し後進の育成等での活躍を期し昨年度創設した地すべり防止工事士マイスターは、平成30年度は52名が登録した。マイスターの登録者は58名となった。

3. 研修関係

(1) 平成30年度地すべり防止技術研修

(一財)全国建設研修センターとの共催で国土交通省等の後援を得て実施した。研修講師は当協会から派遣し、教材等についても講師が作成したものを利用した。

平成30年5月8日(火)から11日(金)までの4日間

現地研修は群馬県譲原地区地すべり対策事業(直轄)の現場

受講者数 19名

(2) 研修テキストの改訂

地すべり防止技術研修に用いられているテキストの改訂のため、研修講師を中心に委員会(委員長:近藤浩一副会長兼研修委員長)を組織し、改訂原稿を作成した。令和元年度早々に発刊する。

4. 総務・広報関係

(1) ホームページの活用

内容や活動を分かり易く表現すると共に、タイムリーな情報伝達に努めた。更に登録地すべり防止工事試験や技術講習会、技術フォーラムの申込をホームページ上で行うシステムを改良し、利用者の利便性を高めた。

(2) 「斜面防災 News Letter」の発行

平成30年度は新年号を含め計3回発行した。協会の主行事等を機関誌とは異なった情報で会員に伝達する手段とした。

(3) 地すべり防止工事士活用調査

会員企業に対し、地すべり防止工事士がどのように活用されているか受注案件について調査を実施した。

資格が受注条件となっている都道府県は、前年度の調査と合わせ業務で11県、工事で10県と、まだまだ活用されているのは限定的であった。

今後も調査は継続し、陳情等の資料として蓄積していく。

5. 技術関係

(1) 第21回「斜面防災対策技術フォーラム'18 in 神戸」を開催

平成30年10月11日(木) 神戸商工会議所(神戸市)

特別講演Ⅰ 千種 浩氏(神戸市教育委員会事務局総務部文化財課長)

演題 「神戸の大地に刻まれた災害痕跡～遺跡から探る～」

特別講演Ⅱ 沖村 孝氏(神戸大学名誉教授)

演題 「六甲山の防災～過去・現在・未来～」

技術発表 発表編数 30編

参加者 253名

技術発表の最優秀発表者として藤原直哉氏(奥山ボーリング(株))、森本貴大氏(国土防災技術(株))、木村智宏氏(ライト工業(株))の3氏が、優秀発表者として津川文宏氏(中部地質(株))、大矢遼太氏(日本工営(株))、目黒恒平氏((株)興和)、藤島雅也氏((株)ホクコク地水)、谷口充哉氏((株)タニガキ建工)、松本哲哉氏(日本建設技術(株))の6氏が表彰された。

技術フォーラム翌日の現地見学会は、亀の瀬地すべりの地すべり対策事業を見学し、参加者は43名であった。

(2) 「斜面对策工維持管理実施要領」の普及、販売促進のため講習会を引き続き開催した。発刊から年度末までに販売数は773部(初版の販売部数は842部、贈呈158部)で残部は69部となっている。

現在、「積算・歩掛委員会」が積算・歩掛編の編集作業を実施しており、令和元年度中に発行予定である。

6. 編集関係

会誌「斜面防災技術」の第132号～第134号を発刊した。
本部と支部編集委員による合同編集会議（平成30年4月13日）を開催し、支部関係の情報収集を密にできるよう意見交換を実施した。
座談会を九州支部（5月15日）及び富山県（8月8日）で開催した。

7. 支部活動

13支部において、斜面防災対策技術の向上及び斜面防災対策業の健全な発展を図るため以下の活動を実施した。

- ・各支部での、登録地すべり防止工事試験並びに地すべり防止工事士技術講習の運営・開催
- ・各支部での、発注者に対する広報・要望活動
- ・各支部での、斜面防災対策技術者の技術向上のための講習会、研修会、見学会等の開催
- ・関西支部での「斜面防災技術フォーラム」の運営・開催
- ・東北支部での支部協会誌「山が動く」の発刊

8. 全国事務局長会議

平成30年11月26日（月）富山市において全国事務局長会議を開催し、協会運営に関する諸事項の協議と各事務局間での意思疎通を図った。

9. 他団体等への協賛・助成

以下の諸行事等に対して協賛・助成した。

- ・土砂災害防止月間（6月1日～30日）
- ・（公社）日本地すべり学会シンポジウム
- ・（公社）砂防学会シンポジウム
- ・インタープリバント2018 富山大会
- ・雪崩防災シンポジウム
- ・砂防図書館の共同運営事業
- ・砂防ボランティア基金
- ・地すべり防止工事士会

以 上

(報告事項)

第2号報告 令和元年度事業計画及び収支予算書について

令和元年度事業計画

1. 総会、理事会及び要望活動関係

- (1) 第41回定時社員総会を令和元年6月25日(火)砂防会館別館にて開催する。
- (2) 理事会は、年3回(令和元年6月10日(月)東京、10月16日(水)松江市、令和2年3月末(未定)東京で開催する。
- (3) 以下の事業を重点課題として、協会の強化及び活性化を図る。
 - ①地すべり事業費の確保
 - ②会員を増やすための活動
 - ③地すべり防止工事士の増大
 - ④協会出版物の活用促進と販売促進の活動
 - ⑤会員の技術力向上のための活動
- (4) 当協会会員の活用及び「地すべり防止工事士」の活用を図るための要望活動を積極的に行う。
- (5) 災害協定の締結および大規模災害への関与に関して、支部・本部一体となって活動に取り組む。

2. 試験関係

登録地すべり防止工事試験及び技術講習会を以下のとおり実施する。

(1) 登録地すべり防止工事試験

①一次試験

令和元年6月15日(土)に全国13都市で開催する。

②二次試験

3会場に絞って実施する。

令和元年9月14日(土)神戸市、9月21日(土)東京都、9月28日(土)福岡市

(2) 技術講習会

平成26年度登録者及び平成29・30年度未受講者を対象として全国13都市で7月から8月にかけて実施する。

地すべり工事士マイスター制度の広報に努め、工事士登録の減少の歯止めを図る。

※受講対象者は約1,000名

3. 研修関係

- (1) 令和元年度地すべり防止技術研修を(一財)全国建設研修センターと共催、国土交通省等の後援を得て、令和元年5月21日(火)から24日(金)までの4日間に実施する。定員40名。
- (2) 研修テキストは、平成30年度に新しい技術や写真、図表を取り入れたテキストに改訂し、今年度の研修会から使用する。

4. 総務・広報関係

- (1) 協会ホームページの内容を充実させ、協会を広くアピールするための広報活動を強化すると共に、会員への有益なツールに発展させる。
- (2) 「斜面防災 News Letter」を継続的に発行して会員への情報提供を行う。
- (3) 「地すべり防止工事士」等の広報資料（パンフ等）を適宜改訂し関係機関に提供できるようにする。
- (4) 地すべり防止工事士の活用状況を協会内で調査し、要望活動の資料を作成する。
- (5) 事務局内のセキュリティ機能を向上させるべく、常に専門家の意見を聴収し、最善の対応を図る。

5. 技術関係

- (1) 第22回「斜面防災対策技術フォーラム'19」を松江市において開催する。
日 時：令和元年10月17日（木）10：00～17：45
場 所：くにびきメッセ（島根県立産業交流会館）
内 容：・特別講演Ⅰ 島根大学教授 汪 発武氏
特別講演Ⅱ 小泉八雲記念館 館長
（島根県立大学短期大学部名誉教授） 小泉 凡氏
・技術発表 発表編数 30 編
・現地研修（10月18日（金）志津見ダム下流地すべり現場）
- (2) 災害対応支援体制及び対応技術力の向上等に関する事項を確立させる。
- (3) 積算・歩掛に関し、適切な積算体系の検討や資料収集・整理に関する事項を確立させる。
- (4) 「斜面对策工維持管理実施要領」の積算歩掛編を発行する。
- (5) CPD（継続教育）制度を充実させる。

6. 編集関係

- (1) 会誌「斜面防災技術」第135～137号を発刊する。
- (2) 会誌「斜面防災技術」編集のため、本部と支部編集委員による合同編集会議を4月12日（金）に開催し、本部支部の意思疎通を図る。
- (3) 座談会を2回開催する。

7. 全国事務局長会議

令和元年度の全国事務局長会議を静岡支部管内で開催し、事務局相互の意思疎通を図る。

8. 他団体等への協賛・助成

以下の諸行事等に対して協賛・助成する。

- (1) 土砂災害防止月間

- (2) (公社) 日本地すべり学会シンポジウム
- (3) (公社) 砂防学会シンポジウム
- (4) 雪崩防災シンポジウム
- (5) 砂防図書館の共同運営事業
- (6) 砂防ボランティア基金
- (7) 全国地すべり防止工事士会 等

9. 各支部の活動

13 支部において、斜面防災対策技術の向上及び斜面防災対策業の健全な発展を図るため以下の活動を実施する。

- (1) 全支部において、本部又は他支部と連動した会員確保活動、講習会・研修会の開催、その他諸活動を実施し、支部の活性化ならびに支部運営の健全化を図る。また、会員への有益な情報提供活動を充実させる。
- (2) (公社) 日本地すべり学会等、関係団体との連携又は活動支援を行う。
- (3) 「斜面对策工維持管理実施要領」の活用と販売拡大を図る。
- (4) 発注者に対して、積極的な要望活動を行う。

以上

令和元年度収支予算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	本 部		支 部		全 体	
	令和元年度予算	平成30年度予算	令和元年度予算	平成30年度予算	令和元年度予算	平成30年度予算
I 事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
① 入会金収入	(400,000)	(600,000)	(200,000)	(200,000)	(600,000)	(800,000)
② 会費収入	(33,210,000)	(33,610,000)	(37,805,000)	(37,725,000)	(71,015,000)	(71,335,000)
年会費	33,210,000	33,610,000	37,005,000	36,925,000	70,215,000	70,535,000
その他会費			800,000	800,000	800,000	800,000
③ 事業収入	(24,476,000)	(24,930,000)	(5,741,500)	(4,941,500)	(30,217,500)	(29,871,500)
印刷物頒布収入	4,197,000	5,400,000	1,500	1,500	4,198,500	5,401,500
試験等事業収入	18,690,000	17,700,000	720,000	770,000	19,410,000	18,470,000
技術フォーラム参加収入		1,830,000	900,000	50,000	900,000	1,880,000
技術研修会収入	1,589,000		10,000	20,000	1,599,000	20,000
業務受託収入			4,110,000	4,100,000	4,110,000	4,100,000
④ その他収入	(820,000)	(800,000)	(2,649,944)	(2,654,957)	(3,469,944)	(3,454,957)
支部活動費(本部から)			1,400,000	1,300,000	1,400,000	1,300,000
雑収入	820,000	800,000	1,249,944	1,354,957	2,069,944	2,154,957
事業活動収入計	58,906,000	59,940,000	46,396,444	45,521,457	105,302,444	105,461,457
2 事業活動支出						
① 事業費支出	(39,733,000)	(42,080,000)	(16,487,940)	(15,258,240)	(56,220,940)	(57,338,240)
技術開発研究費	700,000	900,000	7,695,000	7,525,000	8,395,000	8,425,000
試験等事業費	15,705,000	16,500,000	1,090,000	1,205,000	16,795,000	17,705,000
技術フォーラム事業費	6,740,000	6,600,000	1,200,000	180,000	7,940,000	6,780,000
出版事業費	12,592,000	13,600,000	305,000	550,000	12,897,000	14,150,000
広報活動費	670,000	600,000	3,836,340	3,417,640	4,506,340	4,017,640
その他の活動費			210,000	100,000	210,000	100,000
支部活動費	1,550,000	1,600,000			1,550,000	1,600,000
広告宣伝費	316,000	430,000	593,600	592,600	909,600	1,022,600
協賛金	1,160,000	1,550,000	658,000	788,000	1,818,000	2,338,000
助成金	300,000	300,000	900,000	900,000	1,200,000	1,200,000
② 管理費	(18,697,000)	(19,983,000)	(31,944,000)	(33,104,000)	(50,641,000)	(53,087,000)
職員給与	3,948,000	3,900,000	6,940,000	7,040,000	10,888,000	10,940,000
臨時雇用賃金					0	0
役員退任慰労金			310,000	300,000	310,000	300,000
福利厚生費	716,000	650,000	1,150,000	1,160,000	1,866,000	1,810,000
委託費	2,224,000	3,580,000	5,260,000	5,260,000	7,484,000	8,840,000
会議費	2,911,000	3,000,000	6,190,000	6,975,000	9,101,000	9,975,000
旅費交通費	426,000	500,000	3,710,000	3,770,000	4,136,000	4,270,000
通信運搬費	376,000	400,000	1,360,000	1,352,000	1,736,000	1,752,000
消耗品費	255,000	350,000	595,000	595,000	850,000	945,000
消耗什器備品費		50,000	61,000	61,000	61,000	111,000
保守費(IT関連)	524,000	500,000			524,000	500,000
印刷製本費	315,000	250,000	465,000	529,000	780,000	779,000
水道光熱費	486,000	450,000			486,000	450,000
諸謝金	324,000	330,000	1,400,000	1,400,000	1,724,000	1,730,000
賃借料	5,168,000	5,043,000	3,220,000	3,200,000	8,388,000	8,243,000
租税公課	300,000	80,000	90,000	90,000	390,000	170,000
諸会費	90,500	100,000	278,000	311,000	368,500	411,000
渉外慶弔費	50,000		30,000	120,000	80,000	120,000
雑費	583,500	800,000	885,000	941,000	1,468,500	1,741,000
事業活動支出計	58,430,000	62,063,000	48,431,940	48,362,240	106,861,940	110,425,240
事業活動収支差額	476,000	△ 2,123,000	△ 2,035,496	△ 2,840,783	△ 1,559,496	△ 4,963,783
II 投資活動収支の部						
1 投資活動収入	0	0	0	0	0	0
2 投資活動支出	0	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0
III 財務活動収支の部						
1 財務活動収入	0	0	0	0	0	0
2 財務活動支出	0	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0	0	0	0
当期収支差額	476,000	△ 2,123,000	△ 2,035,496	△ 2,840,783	△ 1,559,496	△ 4,963,783
前期繰越収支差額	4,231,205	7,046,044	20,161,174	20,735,541	24,392,379	27,781,585
次期繰越収支差額	4,707,205	4,923,044	18,125,678	17,894,758	22,832,883	22,817,802

平成30年度予算の前期繰越収支差額は平成29年度決算額を入れてあります。
令和元年度予算の前期繰越収支差額は平成30年度の決算額を入れてあります。

一般社団法人 斜面防災対策技術協会
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 北海道支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 東北支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 関東支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 新潟支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 富山支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 石川支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 長野支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 静岡支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 東海支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 関西支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 中国支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 四国支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 九州支部